

次ページの地図に関する文章と世界地図，地形図の模式図を見て，下記の問に答えよ。

(30点)

世界で初めて投影法を用い，曲線の経緯線も使って描かれた世界地図は，(ア)により作成された。この地図は，単円錐図法に似た図法により描かれている。なお，単円錐図法を，正積図法となるように改良したのが，フランス人の(イ)が考案した(イ)図法である。

中世のキリスト教社会における世界地図の代表として，(ウ)マップが挙げられる。この地図では，中心がエルサレムにあり，方位は地上の楽園が所在するとされた東が上になっている。

大航海時代の1569年には，オランダ人の(エ)が正角円筒図法を考案した。この図法は等角航路が直線で表現されることから，航海用に広く用いられた。

18世紀になるとフランスで地形図が作成された。日本の地形図は，かつて1つの図郭が等脚台形となる(オ)図法により作成されていた。1960年頃以降は，国際的基準に合わせて，(エ)図法の原理を応用したUTM図法により作成されている。これは，1つの図郭が不等辺四辺形で，1枚ごとに形も大きさも異なるため，経度(カ)°間は同一平面でつなぐことができ，歪みがきわめて小さいことが特色となっている。

問1 文章中の(ア)～(カ)に最も適当な語句または数字を記せ。但し，ウはアルファベットで答えよ。(6点)

問2 次ページの世界地図は，X点を中心にして正距方位図法で描かれたものであり，X点は東京の対蹠点である。東京の位置を北緯36°，東経140°とした場合，X点の位置の緯度と経度を答えよ。(2点)

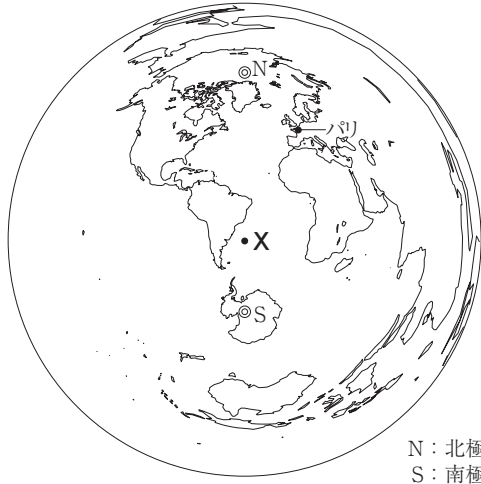
問3 この世界地図では，パリは，中心のX点と外周(円周)を結ぶ線分(半径)のほぼ中点に位置している。このことを参考にして，東京とパリのおよその距離を，単位「km」で答えよ。(2点)

問4 次ページの地形図の模式図の縮尺を解答欄aに記せ。また，そう判断した根拠を解答欄bに記せ。(4点)

問5 地形図の模式図の㉑と㉒の部分のそれぞれの地形名と，一般に見られる農業的土地利用について，併せて40字以内で述べよ。(4点)

問6 地形図の模式図の㉓～㉕の組合せから成る地形の成因について，初めにその地形名を挙げて，併せて90字以内で述べよ。(10点)

問7 地形図の模式図の㉖～㉗の部分の土地のうち，鉄道や道路の建設に最も不適な地形を1つ選び，記号を記せ。(2点)



N : 北極
S : 南極

